

普及センターだより

発行日

2024.5.1

第179号

西讃地域の輝く担い手紹介②

～集落営農組織紹介～

十三塚上営農組合（観音寺市）～新たな営農組織が発足～



池田数好 組合長

十三塚上営農組合は、観音寺市大野原町十三塚上地区において、農業機械の共同利用などの活動を目的に設立された集落営農組織です。

同地区では、水稻と露地野菜の輪作体系により、農地の管理・保全はできているものの、高齢化に伴い担い手不足が深刻化していました。そこで、地域の農地を守りながら効率的な農業経営を行うために、集落営農組織を立ち上げる機運が高まり、令和4年9月から組織の設立に向けて定期的に座談会を開催し、熱心に話し合いを進めてきました。

そして、令和5年3月に構成員15名による「十三塚上営農組合」が発足しました。当組合では、約7haの水稻を中心に、構成員の保有する機械を共同利用して田植や稲刈作業を行っています。また、地区内で営農活動をしている新規就農者を構成員とし、継続的な営農活動を目指しています。今後、大型機械の導入も検討しており、作業の受託体制づくりをすすめるとともに、将来の地域計画の話し合いも予定しています。

池田組合長は、「地域内の営農活動意向調査により、当集落の今後の課題が見えてきた。当組合の設立で課題解決の第一歩を踏み出すことができた。今後は、集落に必要な不可欠な組織となるよう取り組みたい」と抱負を語ってくれました。



「集落営農」を考えてみましょう！

1 「集落営農」とは？

集落内や地域内で話し合い、農作業等の一部又はすべてを**共同化**することです。

2 メリットは？

- 1) 農機具を**共同利用**することで過剰な投資を抑えられます。
- 2) 個々の能力を営農活動に活かします。
機械操作や事務処理等の得意な分野をお互いに補完することで、**効率的な活動**ができます。

3 組織の立ち上げに必要なことは？

※一般的な手順は次のとおりです。

- 1) アンケート調査による実態把握
(集落の実態やみんなの考えをまとめる)
- 2) 集落座談会での話し合い
- 3) 活動計画をつくる(取組内容など)
- 4) 集落への説明会・設立総会

↓
組織活動開始

「集落営農組織」を対象とした補助事業もあります

みんなで守る地域農業推進事業(ソフト事業)

1. 集落営農組織設立支援

- ・ 新規設立を目指す集落等を支援
- ・ 対象者: 設立を目指す集落等
- ・ 助成内容: 補助率10/10、上限10万円

2. 組織間連携等支援

- ・ 人材不足や農業機械の効率的利用のため担い手経営体等との連携開始を支援
- ・ 対象者: 集落営農組織等
- ・ 助成内容: 補助率10/10、上限10万円

3. リクルート活動支援

- ・ 組織人材育成・確保のため、自主的な後継者育成活動を支援
- ・ 対象者: 集落営農組織
- ・ 助成内容: 定額5万円/組織

集落営農の設立・補助事業の活用を検討している方は集落営農担当までお気軽に連絡下さい。

みんなで守る地域農業整備事業(ハード事業)

農業用機械・器具等の整備を支援します。
主な要件は以下のとおりです。

1. 組織の若返り支援

【主な要件】 役員及びオペレーターの半数以上が65歳以下に若返ること、または、構成員の後継者の概ね半数が組織に加入すること等

2. 基盤整備促進支援

【主な要件】 基盤整備に取り組んでいる、または、取り組む予定であること

3. 規模拡大支援

【主な要件】 集落営農組織設立支援事業に取り組み、新設された組織であること、または、設立6年未満の組織は経営耕地面積を1ha以上、設立6年以上の組織は3ha以上拡大すること

4. 条件不利地支援

【主な要件】 中山間地域等直接支払制度に加入し、経営耕地面積を1ha以上拡大すること等

受賞おめでとうございます

第60回香川県花き品評会

農林水産大臣賞

鉢物・観葉植物
「セネシオ」(株)三豊園芸 様
(三豊市)

賞	品目	品種等	受賞者氏名	住所
農林水産省農産局長賞	キク(立毛)	晃花の富士	合田 道雄 様	観音寺市
中国四国農政局長賞	鉢物・観葉植物(立毛)	シクラメン	佐伯 宏 様	観音寺市
香川県知事賞	一般切花・花木(立毛)	ラナンキュラス	中村 泰之 様	三豊市
一般社団法人 日本花き卸売市場協会会長賞	一般切花・花木	デルフィニウム	鈴木 敦士 様	三豊市
	鉢物・観葉植物(立毛)	ポインセチア	(有)モリヒコ園芸 様	観音寺市
四国新聞社賞	一般切花・花木	ラナンキュラス	石井 秀一 様	三豊市
株式会社日本政策金融公庫高松支店長賞	一般切花・花木	マーガレット	大山 政廣 様	三豊市

「初めてのパソコン複式簿記講習会」のご案内

パソコン複式簿記を習得するため、農業複式簿記の基本知識や会計ソフトの実習を行う講習会を普及センターで開催します。

対象者 認定農業者・認定新規就農者でパソコン複式簿記に取り組みたい方

日時 令和6年**8月22日(木)・23日(金)** 午後1時30分から午後4時

内容 農業簿記の基礎知識、パソコン簿記の実践

※「初めてのパソコン簿記講習会」に参加希望の方は**8月15日(木)まで**に御連絡ください。

定員
8名
先着順



〈担い手・農地マネジメント部門 高木・竹林〉

人事異動のお知らせ (令和6年4月1日付)

転出者の紹介 皆さん、お世話になりました。

田中 昭徳 (課長:農業生産流通課へ)
 秋山 修一 (主席普及員:中讃農業改良普及センターへ)
 高橋 孝明 (副主幹:東讃農業改良普及センターへ)
 長谷 秀彦 (副主幹:西讃土木事務所へ)
 相澤 美里 (主任研究員:農業試験場へ)
 高畑 宏基 (主任技師:農業経営課農地マネジメント推進室へ)
 廣瀬 充侍 (技師:農業経営課へ)



※転入者は、本誌4面の「職員紹介」をご覧ください。